

## 競技者注意事項

この大会は、2016年（財）日本陸上競技連盟競技規則、及び本大会の規定により行う。

1. 招集は、全て競技者系の指示に従うこと。
  - ① 点呼終了時刻は、トラック競技は競技開始の15分前、フィールド競技は競技開始の20分前（最終点呼）とする。
  - ② 招集に遅れた者の出場は認めない。
  - ③ 点呼終了後、競技者は集合場所を離れてはいけい。移動はすべて競技者系の誘導によって行う。
  - ④ 四種競技の点呼は最初の種目だけとし、二種目以降は各競技場所に集合（競技開始15分前）とする。
  - ⑤ リレーのオーダー用紙は、その競技点呼終了時間1時間前までに大会本部に提出すること。遅れたチームは棄権とみなす。※オーダー用紙は同封のものを使用すること。
  - ⑥ 棄権する場合は、競技者係に申し出ること。
  - ⑦ トラック種目とフィールド種目が重複する場合はトラック種目を優先とする。ただし、招集の際に審判員にそのことを伝え、フィールド種目からトラック種目に移動する際にはフィールド審判員に断ってからスタート地点に移動すること。
2. 走路順・試技順
  - ① プログラム記載通りとする。
  - ② 四種競技の競技順は次の通りとする。

男子	110mH	⇒	砲丸投	⇒	走高跳	⇒	400m
女子	100mH	⇒	走高跳	⇒	砲丸投	⇒	200m
3. トラック競技  
800mのスタートは男女ともセパレートとする。  
800mにおいては出場選手が8名を超える場合、外側のレーンより1レーンに2名ずつ入る。
4. フィールド競技
  - ① 走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

男子	(練習 1m15)	1m20～1m55 まで 5cm	1m55 から 3cm
女子	(練習 1m05)	1m10～1m35 まで 5cm	1m35 から 3cm
四種男	(練習 1m15)	1m20 から 3cm	
四種女	(練習 1m05)	1m05 から 3cm	
  - ② 走幅跳のピットはA・Bピットで行う。
5. ナンバーカードは胸部と背部に付けること。ただし、跳躍競技の出場者は胸部または背部のみでよい。（走幅跳、走高跳）。また、トラック競技（リレー競技においては第4走）では、競技者係で腰ゼッケンをもらいスタート前に右腰に着け、ゴール後に係りに返還すること。
6. 表彰は行わない。各種目6位以内（リレーは3位まで）の入賞者は、賞状を学校ごとに本部2階へ受け取りに来ること。
7. 練習について
  - ① 8時20分まで、本競技場での練習を認める。
  - ② ウォーミングアップは競技に支障にならないようバックストレートと外側トラックを利用のこと。競技場外のグラウンド（末広中学校のグラウンド）などの施設を使用しないこと。
8. スパイクシューズについて  
本競技場は全天候舗装であるので、ピンは全天候型9mm以下を使用する。
9. その他
  - ① ナンバーカードは競技終了後順番にそろえて、返却すること。
  - ② スタートの発声は英語で行う。事前に指導しておくこと。「位置について」が [on your marks]、「用意」が「set」とする。
  - ③ ランニングパンツの下からはみ出るようなスパッツの使用を禁止する。ただし、はみ出していない場合やハーフパンツやスパッツだけを着用することは許される。（注意を受けた場合についてはきちんとした対応を取る）
  - ④ 不正スタートについては1発失格を適用する。1回目から不正スタートした競技者は失格とする。ただし、男女四種競技においては各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者は全て失格とする。